

製品名: チロシン水酸化酵素ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19473**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	TH TYH
別名	Tyrosine 3-monooxygenase (EC 1.14.16.2) (Tyrosine 3-hydroxylase) (TH)
遺伝子 ID	7054.0
SwissProt ID	P07101
免疫原	ヒトチロシン水酸化酵素ポリクローナル由来の合成ペプチド

背景

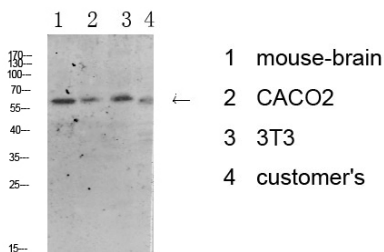
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、チロシンからドーパミンへの変換に関与しています。カテコールアミン合成における律速酵素であり、アドレナリンニューロンの生理機能において重要な役割を果たしています。この遺伝子の変異は、常染色体劣性

瀨川症候群と関連付けられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが知られています。[RefSeq 提供、2008年7月]、触媒活性: L-チロシン + テトラヒドロビオプテリン + O(2) = 3,4-ジヒドロキシ-L-フェニルアラニン + 4a-ヒドロキシテトラヒドロビオプテリン。、補因子: Fe(2+)イオン。、疾患: TH の欠陥はジストニアの原因です。DOPA 応答性常染色体劣性 (ARDRD) [MIM:605407]。常染色体劣性瀨川症候群としても知られています。 ARDRD は、乳児期または幼児期に発症する DOPA 反応性ジストニアの一種です。ジストニアは持続的な不随意筋収縮を特徴とし、しばしば異常な姿勢につながります。ARDRD の一部の症例では、乳児期にパーキンソン病様症状を呈します。他のすべてのジストニアとは異なり、ARDRD は L-DOPA に対する良好な反応を示すため、非常に治療しやすい疾患です。、酵素調節: リン酸化は触媒活性の上昇につながります。、機能: アドレナリンニューロンの生理機能において重要な役割を果たします。、オンライン情報: チロシン水酸化酵素への入り口、経路: カテコールアミン合成; ドーパミン合成; L-チロシンからドーパミン: ステップ 1/2。、類似性: ビオプテリン依存性芳香族アミノ酸水酸化酵素ファミリーに属します。、組織特異性: 主に脳と副腎で発現します。、

研究分野

チロシン代謝;パーキンソン病;

画像データ



各種溶解液のウェスタンブロット分析。抗体は 1000 倍に希釈した。二次抗体は 1:20000 倍に希釈した。